



飯干峠・白生々呂の紅葉

森の古民家泊！歩いてめぐる秋の諸塚やま学校！

## エコツアー「秋の黒岳登山！集落お散歩と秋祭り」

募集中

過ごしやすい陽気の中、秋の諸塚を歩く2日間。

初日は、懐かしい雰囲気集落、黒葛原(つづらのはる)をお散歩するフットパスを行い、夜はかまどで炊き上げた新米をいただきます。囲炉裏のある古民家で朝を迎えたら、秋仕様に色づきはじめた黒岳登山！1時間ほどで山頂に着く初心者向けの山ですが、諸塚最高峰！秋の諸塚を見渡せます。午後には、黒岳のふもとに広がる集落、小原井(おばらい)の秋祭りへ。

興味はあっても、個人だとなかなかできない集落のお散歩と秋祭り見学。季節の変化をダイレクトに感じられる諸塚で、秋を堪能しませんか？

※詳細は、下記HPもしくはお電話にてお問い合わせください。

### 旅の詳細

集合：10月26日(土)13時

解散：10月27日(日)15時

定員：15名※先着順

最少催行人数 10名

※添乗員同行あり

会場：諸塚村内

代金：一般 7,000円/名

※ガイド料・宿泊料・食費込み

※料金は全て税込です。

※お子様・日帰りご希望の方は代金をお問い合わせください。



申込期限 10月17日(木)

やま学校・緊急番外編！

## エコツアー「たき火の作法」

申込期限 10月31日(木)

募集中

次々と襲ってくる、前例のない災害。もし、ガスも電気も使えなくなったら？水を飲む、暖を取る、食事を作る。全てに必須となる『火おこし』の技術を、山師の知恵から楽しく学びます。11月9日(土)開催！

※詳細は、下記HPもしくはお電話にてお問い合わせください。



お申込・詳細はコチラ [TEL]0982-65-0178 <http://morotsuka-tourism.jp>

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は、下記までお知らせください。

一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部  
TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189  
〒883-1301 ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp  
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内



twitter



facebook



もろつかナビにて  
カラーで公開中！



# 昔日のリアルやま学校

コラム連載 第2回 『昭和30年代の運動会』

尾形

私が小学校低学年の頃は、諸塚小学校の児童数も700人以上でした。運動会は、足が速い人はリレーに(学年リレーと団対抗リレーに分けて)出るのですが、私は遅かったので、徒競走と障害物走と団技と体操に出たら、後は応援のみ。それでも今にして思えば懐かしい思い出です。当時のPTA会長が例年挨拶で「絶好の運動会日和となりました」と云うのですが、曇天の今にも降り出しそうな日には、子どもも全員承知でわざとのように空を見上げているものでした。昼には出店もあって、肌寒い日でも5円のアイスクャンデーを買って食べたものです。食べ終わる頃には鳥肌が立つような寒い日でも必ず食べていました。何故なら、当時アイスクャンデーは滅多に口にすることが無い食べ物で、運動会の日には特別に買って貰えたからです。他におやつは、栗や早生柿にからいも位のものでした。帰りには、保護者と一緒に途中休んで、お決まりの場所でお昼の弁当の残りを食べていました。

運動会も終わり秋が深まって来ると、男の子は「くびち」という罿(木や糸を使って作る、鳥用の罿)をかけ、学校から帰るとすぐに罿を見に行ったものでした。遠くから見て罿が外れて居る時は、ドキドキしながら近づいて、獲物があると嬉しくてたまらないのですが、逃げられて羽の一部だけが残っている時が多かったように思います。中学生にもなると、高くびちと云う「篠竹を利用して胸の高さで仕掛ける」大物の鳥が掛かる仕掛けを作る人もいました。当時、まだテレビも普及前。遊びも手作り感溢れるような感じでしたが、先輩達から習うか、見ていて覚えるような、今思えば異次元のような気さえします。

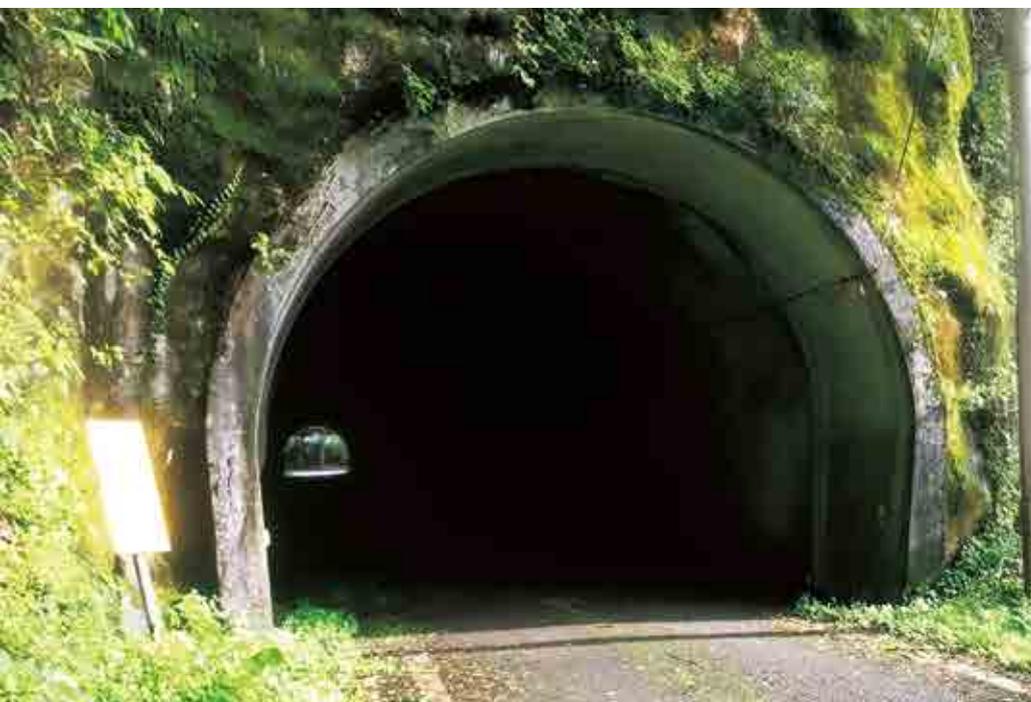
「折り敷いて重なる山の中程に吾は住み居りそれだけの事」



▲昭和22年頃の諸塚小学校



▲諸塚では、いろんな鳥の鳴き声が聞こえます



## VIEW SPOT

国道327号線、椎葉村に入る手前、塚原ダムと古園一号トンネルに挟まれた脇道を進むと出てくる小さなトンネル。苔むした壁、左手に広がる絶景のダム湖(川?)、真っ暗なトンネルの中は、ごつごつとした岩肌をそのままコンクリートで覆ったかのように、ホラー的な噂を聞くのも頷ける程、雰囲気があります。カッコいい塚原ダムのすぐそばにある、異世界へ繋がりそうな風景です。

岩切

## インタビュー

森の村から未来を描く

# 新時代を生きる諸塚のわけもん達

vol.2

美栄造園代表 甲斐 栄康まさやすさん



▲時には「やま学校」の世話人も

### —Uターンして20代で会社を起こす

専門学校を出た後、6年間は日向市で造園の仕事をしていました。諸塚に戻って1年間は観光協会にお世話になりましたが、これまでの経験を活かしてより地元で貢献できることをしたいと、自分で造園の会社を立ち上げました。

### —「NOとは言わない」みのも としたろう

尊敬する造園学者、蓑茂寿太郎さんが「造園屋さんは家全体のメンテナンス屋さんになりなさい」という事を言っています。造園の仕事は、お客さんの要望に合わせて庭木の手入れ・庭造り・除草作業はもちろん、お家やお家周りの仕事は幅広くなんでもこなします。会社の事業も、諸塚村内の公園施設の草刈りから、最近では希少植物の保護活動や資源物の回収まで請負はじめました。頼まれ事・必要とされる事は何でも引き受けるという姿勢で頑張っています。

諸塚村松の平出身 33歳  
福岡県の専門学校で造園を学び、  
2013年春に諸塚へUターン。  
観光協会での勤務を経て2014年  
春に「美栄(みさか)造園」を起業。

インタビュアー：田邊

## 高工会青年部の

# ふれあいビアガーデン !!

ご報告

令和元年8月24日(土)、商工会青年部主催による「ふれあいビアガーデン」が、しいたけの館21において開催されました。

これは、村民同士の交流をより一層深めるとともに、村内等の若者を中心に交流の場を作り、地域性や村民性など諸塚村の良さを発信・再認識してもらう地域振興の一環として取り組まれたものだそうです。

当日は午後5時を過ぎた頃から人が集いはじめ、村内のご家族連れなど、老若男女問わず、時間とともに次々にこのビアガーデンに来られました。

どんこ亭のビュッフェに、生ビールやカクテルなど。美味しい飲み物と料理に囲まれ、心地よい音楽が流れる中、皆さんそれぞれに楽しいひとときを過ごされたようです。

やっぱり、笑顔っていいですね。来場された皆さんの笑顔を見て、とても幸せな気分になりました。

佐藤



▲レストラン「どんこ亭」に即席のDJブースが登場!



## EVENT in morotsuka 2019

11月16日(土)

第17回 諸塚駅貸つけ唄全国大会

11月16日(土)

第7回 森の恵みのスープ料理コンテスト

11月17日(日)

第70回 諸塚村民文化祭

## やま学校 年間計画

1泊2食付き!  
ゆったり滞在コース

11月23日(土)~24日(日)

旬のゆず狩り! 柚子づくしの2日間

2020年1月18日(土)~19日(日)

現役猟師さんの森ガイド!

山とジビエの2日間

10月後半  
募集開始!

森の古民家泊!  
田舎暮らし満喫コース

2020年2月22日(土)~23日(日)

コマを打つ! 蕎麦を打つ!  
もろつかを食べる!

古の技を知る!  
日帰り体験コース

10月12日(土)

和紙はがき&大判紙漉き体験

12月14日(土)

手作り♪かずらリースづくり

まもなく  
開催!

## ご報告

### 森のエコゼミナール 明治学院大学 国際学部編

2019年8月22-24日 開催

環境と経済をテーマに学んでいるという学生さんたち17名が、今回初めてのご来村。全体で10日間にわたる熊本・宮崎を廻るゼミ合宿の中で2泊3日の行程で諸塚に来ていただき、滞在を通じて山村の暮らしを体感してもらいました。

3日間の滞在拠点は、築140年を超える森の古民家「やましぎの杜」。1日目は村の概要や産業の特徴などの話を聞いた後に、さっそくやましぎの杜での古民家生活体験。釜戸を使ってのご飯炊きや、竹を使った蒸し煮「かつぼ鶏」づくりにチャレンジしました。夕食後には村内の30代の若手U・Iターン者3名を招いて、村での暮らしや仕事について話を伺いました。

2日目の行程は、2班に分かれてガイドツアーとめんば作りを実施。A班は、午前中にしいたけ生産農家とJAのしいたけ選別場を見学。しいたけを育てる原木のくぬぎの森からはじまり、収穫を行う「ほた場」・乾しいたけをつくる乾燥小屋・乾しいたけの選別場と、生産から品物として消費者に届けるまでの一連の行程を学び、午後にめんば体験。B班は、午前にめんば体験、午後は林業をテーマに、諸塚木材加工センターの工場見学と、諸塚村の森林認証木材を使って「T SUMIKI」をつくるお隣り町の木工所「もっくわーく那須」を訪ねました。

めんば作り体験は、伝統工芸士の甲斐安正さんにご指導いただきました。ご指導、交流いただいた皆様、ありがとうございました。

### 今回のカリキュラム

1 日目	実習① 実習② 実習③	セミナー「森とともに生きる 諸塚村の暮らしと産業」 森の古民家で田舎料理作り体験 ムラのワカモノと語る！ トークセッション
2 日目	実習④ 実習⑤	森の匠に教わる 水のお弁当箱めんばづくり くぬぎの森のガイドツアー ～諸塚村の林業・しいたけ栽培を知る～
3 日目		諸塚村出発



## ご報告

### 環境を学ぶ旅 JICA ラオス研修

2019年9月4-6日 開催

日本の山岳地域における林業と地域振興を学ぶというテーマで、ラオス国北部、ウドムサイ県の森林行政に関わる国・県の職員6名が諸塚村を訪れました。全体では日本国内に12日間滞在し、宮崎県の日南市や綾町、埼玉県秩父市などを巡るそうです。

諸塚村には2泊3日の滞在で、高冷地園芸団地の野菜生産農家やしいたけ生産農家・諸塚木材加工センターなどを見学しながら、諸塚村の産業と地域づくりについてご紹介。FSC®森林認証の取得やそれを活かした様々な取り組みに関心が高かったようです。また、ラオスの中でも山岳地帯からお越しかった今回の視察団の皆さん、似たような地域条件とのことで、高冷地野菜やしいたけ栽培もかなり興味深かったようです。諸塚の生産者の皆さんに細かに質問をしていました。



### 編集後記

「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」詠み人知らずの歌である。昨夜(9月13日)9時過ぎ、数分間だけ名月を見ることができました。後は又、雨。 尾形

森の古民家「やましぎの杜」の納屋にできたアカバチ(キロスズメバチ)の巣。

安全の為あえなく殺虫剤で駆除したが本音はおおらかに見守りたい。そして秋には恵みを頂きたい… 田邊

職場までの通勤時間3分。

ほんの数分なのですが、諸塚の山や川を見ながら、この自然に魅了される大切な時間です。 佐藤

全国トップの路網密度を誇る諸塚村。入社前にいただいた村の地図、通ったことのある道を蛍光ペンで塗っています。塗りながらニヤニヤして、眺めながらまたニヤニヤしています。いつか全てを塗りつくすその日まで! 岩切